

2014 年度光みらい奨励金(コニカミノルタ科学技術振興財団賞)

日本光学会では、光科学技術を新産業に結びつけていくことができる独創的な研究を支援することを目的として、「新産業創出に向けた独創的な研究への奨励金—光みらい奨励金—」(後援：公益財団法人コニカミノルタ科学技術振興財団)を設け、募集ならびに選考を行いました。その結果、本年度の採択者を以下のとおり決定いたしました。

○光みらい若手奨励金 (30 万円)

中川 桂一氏 (東京大学)

「分光器のイメージングへの発展と超高速カメラへの展開」

○光みらい学生奨励金 (5 万円)

平山 竜士氏 (千葉大学)

「量子ドットに基づく超高精細・高解像度を実現するボリュームディスプレイ」

中村 友哉氏 (大阪大学)

「ライトフィールドカメラを用いたリアルタイム全焦点イメージング」

夏 鵬氏 (京都工芸繊維大学)

「3次元形状と分光分布の高速同時動画計測顕微鏡の開発」

渡辺 果歩氏 (和歌山大学)

「空間的インコヒーレント光を用いたホログラムの記録・再生法」

選考委員は以下の通りでした。

委員長：尾松孝茂(千葉大学)

委員：吉森久(岩手大学)、溝上陽子(千葉大学)、高橋浩一(オリンパス)、
齋木敏治(慶応大学)、栗村直(物材機構)、平井亜紀子(産業技術総合研究所)、
志村努(東京大学生産技術研究所)、山口進(コニカミノルタ)、
池田貴裕(パイフォトンクス)、吉川浩(日本大学)、岡田 英次(慶應大学)